



2025 年 9 月 30 日

各位

[illegible]

当社連結子会社による貯蔵施設新設に関するお知らせ

当社は、本日付で当社連結子会社であるエフエスロジスティックス株式会社（東京都足立区 代表取締役 吉川直樹 以下、「エフエスロジスティックス」）において貯蔵施設「東海マザーセンター」を新設することを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

## 記

## 1. 新設の目的

当社グループが昨年発表した中期経営計画「keep on trying 2027」では、基本方針の一つとして「青果物サプライチェーンの構造改革」を掲げ、貯蔵機能の強化を推進しています。今後も常態化が見込まれる気候変動による調達リスクに対応し、調達に関する物流費の削減や長期貯蔵による差損低減を図るため、集出荷貯蔵施設「東海マザーセンター」を中京エリアに設置します。

## 2. 当該施設の機能

### (1) 物流の効率化

東西の中心に位置する愛知県にストックセンター・中継ポイントを整備すると同時に、幹線便網を活用することにより全国産地からの集荷と各消費地への配送効率を高め、また、多方面に積み替え・混載が可能となることで車両回転率の改善も見込んでいます。

## (2) 青果物の長期鮮度保持

当社グループの研究開発部門で長年培ってきた長期鮮度保持技術の研究成果を実装することで、青果物の最適な管理を行い、鮮度劣化を防ぎながら保存期間の延長を実現します。野菜を一定期間貯蔵することができれば、天候不順等による野菜の生育不良が発生しても、安定的に供給していくことが可能となります。これにより、野菜の価格高騰の影響を低減し、グループ収益の安定化も図ります。

### (3) 生産者の負担軽減

当該施設では、青果物の生産者サイドにおける作業領域である選果やパッケージ作業を担うことを

予定しています。これにより、生産者の作業負担を軽減し、栽培・収穫に注力できるようにすることで、持続的な農業の実現にも貢献します。

#### （４）３ＰＬ事業への参入

当該施設を運営するエフエスロジスティックスでは、同施設をグループ外の商品保管などＴＣ（通過型物流）センターとしても活用する予定であり、新規に３ＰＬ事業を介した外販拡大を促進します。また、ＷＭＳ（倉庫管理システム）の導入によるオペレーションの効率化を意識した最適なセンター運営も目指していきます。

#### ３．当該施設の概要

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 所在地  | 愛知県 弥富市 上野町                  |
| 賃貸面積 | 1,173 坪（賃貸物件）                |
| 投資額  | 約 8.1 億円(改修費用等)              |
| 資金計画 | 当社からの借入金、農林水産省からの補助金、自己資金を予定 |
| 竣工   | 2026 年 2 月（予定）               |
| 営業開始 | 2026 年 3 月（予定）               |

#### ４．業績への影響について

当該施設の建設に伴う 2026 年 3 月期の連結業績予想の修正はありません。今後、重要な影響を与える事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上